

## 2019年度（令和元年度）第1回福山市廃棄物減量等推進審議会 議事概要

### 1 日時等

日 時：2020年（令和2年）1月21日（火）15：00～16：00

場 所：福山市役所 本庁舎6階 60会議室

### 2 出席者

委 員：鶴崎健一 会長，生田政代 委員，内田隆士 委員，川上富美子 委員，  
川久保和雄 委員，栗原正和 委員，河野吉男 委員，佐々木明彦 委員，  
清水直樹 委員，瀬戸田誠 委員，山手秀之 委員，山根直子 委員，  
吉岡睦子 委員 （13名）

事務局：環境総務課長，環境総務課整備担当次長，廃棄物対策課長，  
廃棄物対策課廃棄物第1担当次長，環境保全課長，環境啓発課長，  
環境施設課長，南部環境センター所長，西部環境センター所長，  
北部環境センター所長，新市業務担当課長，東部環境センター所長

### 3 承認・報告について

事務局から，委員18人中13人の出席により，過半数に達していることから，本審議会が成立していることが報告された。

### 4 議事（1）2018年度（平成30年度）ごみ排出量等について

事務局から，資料2及び資料3による説明後，質疑応答がされた。

質疑・提案（委員）	応答（事務局）
現状のごみ処理（RDF）から次期ごみ処理施設によるごみ処理に変更するメリットを教えてほしい。	焼却施設3施設とごみ固形燃料工場をそのまま更新し，約20年間運営する場合と，次期ごみ処理施設1施設に集約し，約20年間運営する場合で比較すると，建設費・運営コストを含めて約200億円程度の削減ができると試算している。
現状は，ごみを固形燃料化して発電を行っているが，次期ごみ処理施設の発電計画について教えてほしい。	現状は，福山リサイクル発電株式会社で，ごみ固形燃料を燃やして発電している。 次期ごみ処理施設では，ごみを直接燃やして熱を利用して発電する計画である。 具体は，今後事業者から提案されることになるが，次期ごみ処理施設の発電量は，福山リサイクル発電株式会社と同程度と試算している。

事業系ごみの量が増加傾向にある要因をお聞きしたい。	事業系ごみの量は、経済活動等に伴うものなので、景気との連動が推察される。事業所においてリサイクルの取組はされているが、引き続きごみの減量化について啓発していく。
2018年度（平成30年度）の使用済小型家電の回収実績は、2017年度（平成29年度）と比べて差はあったか。	使用済小型家電の回収実績は、2017年度（平成29年度）が約58,000kg、2018年度（平成30年度）が96,284kgであり、増加している。
使用済小型家電の回収実績の増加は、啓発等によるものか。	2017年度（平成29年度）から「エコでえ〜こと Happy!キャンペーン」で使用済小型家電の拠点回収を実施しており、キャンペーンを通じて回収拠点が周知されたことが要因の一つと考えている。

5 議事（2）路上等における喫煙に一定の制限を設けることについて  
事務局から、資料4による説明後、質疑応答がされた。

質疑・提案（委員）	応答（事務局）
路上等における喫煙に一定の制限を設けることは、2024年（令和6年）に開催予定の世界バラ会議に向けても非常に有効と思われるが、勧告のみではなく、罰則規定を設けないと効果がないのではないか。	現行の福山市空き缶等の散乱防止及び環境美化に関する条例では、勧告の規定はあるが、罰則等を設けていない。現時点では、啓発等を通じてポイ捨て禁止の意識を高めて協力していただきたいと考えている。
罰則規定については、将来的な検討課題ということではいか。	お見込みのとおり、将来の検討課題である。
現行の福山市空き缶等の散乱防止及び環境美化に関する条例に基づく勧告は行っているのか。	条例に勧告できると規定されているが、勧告に至った事例はない。
美化推進重点区域に6号区域（その他市長が定める区域）とあるが、6号区域を定めているのか。	6号区域は定めていない。
「公共の場所における喫煙について一定の制限を設けること」とあるが、一定の制限について詳しくお聞きしたい。	基本的には、公共の場において喫煙する場合に周囲に配慮するという意味の努力義務と考えている。
たばこについては、ポイ捨てだけでなく、健康推進という視点で他の部局とも連携し、喫煙率を下げるといふ施策も必要。喫煙率が下がればポイ捨ても減る。	保健所とも連携をしており、意見をもらっている。

喫煙禁止場所ではなく，喫煙可能な場所を設けて，それ以外では喫煙してはいけないという施策が必要。	喫煙可能な場所については，今後検討する。
---	----------------------

## 6 その他

事務局から，参考資料2について説明後，質疑応答がされた。

質疑・提案（委員）	応答（事務局）
福山環境白書の中身は，ホームページ上で見ることはできるのか。	今後，ホームページに掲載する予定。 行政や関連団体だけでなく，市民の皆様にも見ていただき，一緒に福山の環境の現状について学んでいきたいと思っている。